

包括支援センターの今後のあり方 介護予防事業について 婦人がん検診について

三田村議員

(1) 福祉行政について

① 包括支援センターの今後のあり方について

包括支援センターは地域の高齢者のよろず相談窓口である。今後社会福祉士の役割は大きく、十分な相談対応をやってほしい。そこで大村市は、直営型ですが、現在の取り組み状況と現在抱えている問題点や今後の方向性を示してほしい。

② 介護予防事業について

現在介護予防の必要な虚弱高齢者、元気高齢者の介護予防事業についての取り組みと、今後の新しい取り組みについて示してほしい。特に今後虚弱高齢者が増え、特定検診指導も今年から始まり、介護予防も同時に支援の充実が必要と考えるが、保健師の体制はどうなるのか。増員の検討はされているのか。

③ 婦人がん検診について

大村市の乳がん、子宮がん受診率アップと早期発見、早期治療のため受診したい時いつでも受けられる受診体制をとり、かつ集団検診車を是非大村に巡回し、もっと検診の窓口を広げることができないのか。

福祉保健部理事

(1) ① 地域包括支援センターは、中立公正なサービス

の提供、総合相談窓口の一本化による統一した早期対応など重視し、市民に対してわかりやすくするため、現在の形で設置している。これまで周知を図るために、広報紙への掲載や関係団体との懇談会を開催している。今後もPRをしていきたい。

また、情報をいかにつかむかが問題である。ネットワーク化し、情報をいただき支援をするという形にしていかなければならないと強く思っている。

② 運動器の機能向上を図る足腰道場や食の自立支援を行う栄養改善事業、各事業へ虚弱な方の参加を支援する自立支援移送サービス事業等行っている。これらを広げることが必要である。また、生活機能検査に力を入れ、介護予防支援を行っていききたい。

一般高齢者へは、介護予防教室やふれあいサロン、高齢者リフレッシュ事業等行っている。

現在、十分な対応はできると思うが、今後高齢者が増えて相談も増えれば、社会福祉士等の増員についても検討しなくてはいけないと考える。

福祉保健部長

③ 現在検討しており、早いうちに前向きに方向を決定したい。また集団検診の導入も検討、研究していきたい。

インターネットで

議会を視聴できます

(6月定例会の市政一般質問の模様を試験運用中)

大村市議会では、9月定例会から市政一般質問のインターネットによる録画放送を開始します。現在、6月定例会の一般質問の模様を試験運用しています。多くの市民の皆さまに市議会の模様をご覧いただき、市政への関心を高めていただきたいと考えています。

会議終了後5日(土日祝祭日を除く)以内に配信します。

◆視聴するには

- ① 大村市議会ホームページにアクセス
- ② 「インターネット放送」のボタンをクリック
- ③ 「定例会から選ぶ」又は「議員名から選ぶ」をクリック
- ④ 「会議名」又は「議員名」を選んでクリック
- ⑤ 視聴したい会議又は視聴したい議員の「再生」ボタンをクリック

の手順でご覧できます。

このほか、大村市議会ホームページでは、会議録の検索や議会に関する様々な情報が掲載されています。ぜひご覧ください。



<http://www.city.omura.nagasaki.jp/gikai/>

トップ画面



再生ボタン画面

